

三項関係で話題の共有—楽しい会話

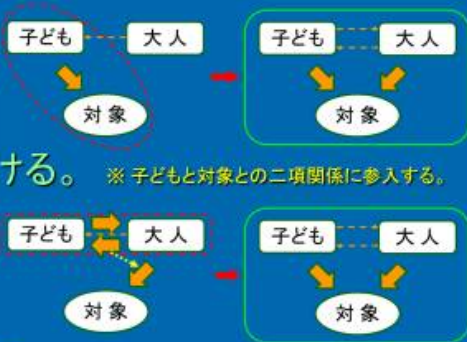
▶共同注意の支援から更に発展的關係へ

- 支えられた共同注意
(パラレルトーク)

➢ 意をくみ取って語りかける。 ※ 子どもと対象との二項関係に参入する。

- 受動的共同注意
(指さしトーク)

➢ 指さしながら語りかける。 ※ 子どもと目が合っているときに対象へと誘う。



▶ やがて能動的共同注意、語・文・会話へと発展

* 能動的共同注意(子どもが自ら指さす)は、やがて、始語・2語文...会話へとつながる。

1. やがて、子どもが対象を注視しているときに、大人が子どもの意をくみ取って話しかけること(パラレルトーク/支えられた共同注意)が有効になります。
 2. 更に、子どもが大人の指差しに応じて視線を向けたり(受動的共同注意)、自ら指さして大人の視線を誘導したり(能動的共同注意)するようになります。
 3. このように、三項関係が安定的に成立するようになると、子どもからの自発的な表現も増えてきて、相手とのやり取りを楽しむようになります。
 4. こうして、会話を楽しむようになれば、訂正ではなく、自然なやり取りの中でさりげなく補い返すことが有効です。
- ▶ 三項関係で話題の共有、楽しい会話の中で、さりげなくフィードバック。

おかあさん、
おかちない?

おいしいおかし
があるよ。じゃ、
おかあさんが出
すからね。

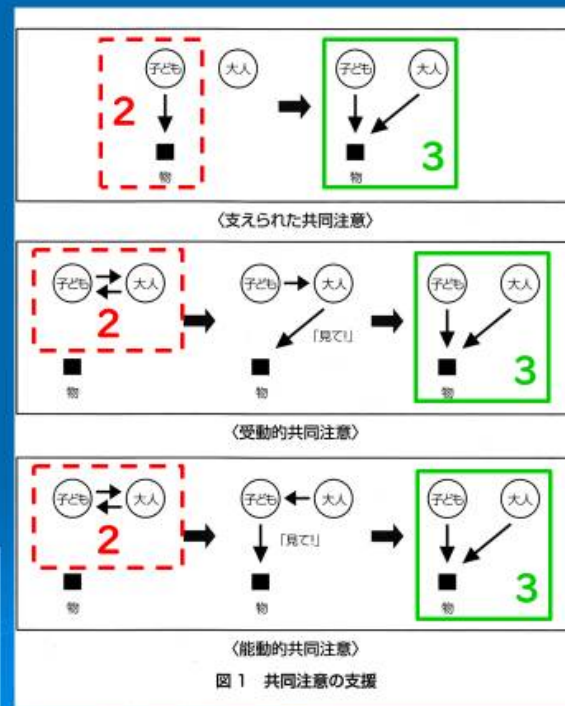
※ 文中の挿絵イラスト ☞ かわいいフリー素材 いらすとや <https://www.irasutoya.com/> より

① コミュニケーション発達を見守る ～三項関係成立のプロセスをたどって～

共同注意の 支援*

- ① 支えられた共同注意
- ② 受動的共同注意
- ③ 能動的共同注意

※ 枠、及び、数字は、
筆者による追加。
赤破線枠・2...二項関係
緑実線枠・3...三項関係



上の図で、二項関係は、子どもと物との関係(対物)、子どもと大人との関係(対人)です。そこから、子どもと大人が共通の物を注視する「共同注意」、すなわち、三項関係へと発展する三つの基本形が示されています。

子どもの発達において、身近な大人との間で三項関係が成立するようになることは、コミュニケーション発達の基礎となる最も重要な出来事です。ここでは、そのプロセスを追いながら、その見守り方について概説します。

* 長崎 勤・他(編著): 自閉症児のための社会性発達支援プログラム—意図と情動の共有による共同行為—日本文化科学社, 2009.

長野圏域療育コーディネーター/言語聴覚士 安川 健治

〒380-0928 長野県長野市若里6-6-14 児童発達支援センター にじいろキッズらいふ
TEL 026-219-3781 業務携帯 080-8877-1709 E-mail k-yasukawa@nagano-shajikyo.or.jp

二項関係から三項関係へ(その1)

➤コミュニケーションのきざし



➡ うっすら三項関係前期(手を持つが目は合わない)

1. 子どもが大人の傍らで、ある対象(物)を注視し、そこに働きかけようとしています。もし、手が届かなかったら、傍らの大人に頼ろうとするでしょう。
 2. このとき、自閉症など、三項関係の成立に困難がある子どもの場合、大人の日を見ずに手だけを見て、働きかけようとする場合があります。
 3. この行動パターンは、リーチングと呼ばれますが、大人の手首を持って持ち上げようとする様子から、俗に「クレーン」とも呼ばれます。
 4. この段階の特徴は、「目が合わない」ということで、たとえば、大人の側で子どもの名前を呼ぶなど働きかけても、振り向かない、目を合わせない状況です。
- 子どものフレームには大人の手しか入ってはず、三項関係は極めて希薄です。☞ **うっすら三項関係前期**

二項関係から三項関係へ(その2)

➤コミュニケーションの芽生え



➡ うっすら三項関係後期(ときには目が合うようになる)

1. 大人の全体像がフレームに入っていない子どもに、ただ呼びかけても、受け入れてもらえず、ただ待っているだけでも、新たな変化は期待できません。
 2. そこで、子どもと大人が対面して遊ぶ場面で、子どもの好きな遊び(いないいないバア、高い高い、一本橋...)を楽しみ、濃厚な対人二項関係を結びます。
 3. そのような遊びを繰り返しているうちに、子どもの心の中で、「楽しい」という感情とともに、「もっと楽しみたい」という期待感が膨らんできます。
 4. その状況で、大人の側が少し間を取ると、子どもの側に「もっとやって、早くやって」という要求表現が誘発され、前より大人を意識するようになります。
- 子どものフレームに大人全体が入り、ときには目が合うようになってきます。☞ **うっすら三項関係後期**